

平成 23 年 4 月 25 日
社団法人日本建設業連合会

東日本大震災に対する義援金について

3 月 11 日に発生した東日本大震災は、東北、北関東地方を中心に広範な地域に未曾有の被害をもたらしました。

被災された多くの方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げます。

日建連、土工協および建築協の 3 団体は、4 月 1 日の合併に先立って、3 月 14 日に「新日建連緊急災害対策本部」を設置し、国、地方公共団体等との緊密な連携の下、災害救援、応急復旧等の支援活動に努めてきました。

災害復旧支援はもとより、3 月 25 日の 3 団体合同理事会において、新日建連として全法人会員 145 社に対し、義援金 7 億円を募ることを決定し、日建連取りまとめ分 6 億 5,000 万円を 4 月 25 日に日本赤十字社に拠出しました。

なお、法人会員全体としましては、別途、日本赤十字社等に拠出しました分を合わせますと総額で 8 億 8,700 万円余となる見通しです。

<義援金>

目標額 7 億円 (145 社)

総額 8 億 8,702 万円 (133 社)

※ このうち日建連取りまとめ分 6 億 5,000 万円
内訳 6 億 4,688 万円 (112 社)
312 万円 (日建連)

拠出日 4 月 25 日

※ 別途拠出分 2 億 3,702 万円 (37 社)

以上